

PCI/FHWA/fib シンポジウム (アメリカ オーランド) に参加して

中村 定明*

1. はじめに

PCI/FHWA/fib の国際シンポジウムが、アメリカのフロリダ州オーランド市ワールドセンターで開催された。今回、プレストレストコンクリート技術協会副会長でもある日本大学山崎 淳教授を団長とする視察団の一員として参加する機会を得たので、その概要を報告する。

2. PCI/FHWA/fib シンポジウムの概要

2.1 会場概要

今回のシンポジウムは、2000年9月24日から27日まで4日間、PCI (Precast/Prestressed Concrete Institute) および FHWA (Federal Highway Administration) との合同主催により、オーランド市のワールドセンターマリオットにおいて開催された(写真-1)。

今回は、世界39カ国から登録者や同伴者を含めて総勢約1300名の参加者があった。表-1に主要各国の事前登録者数を示す。日本からも産官学から総勢約80名の参加があり、開催国のアメリカに次ぐ規模であった。

「次世代への連携 (Reaching Out to the Next Generation)」をシンポジウムのテーマとして、高性能コンクリート (High Performance Concrete) 技術を中心に24のセッションに分かれて、約80題の発表が行われた。また、会議と並行して、展示会や見学ツアーも開催された。



写真-1 会場となったマリオットホテル

表-1 主要各国の事前登録者

国名	登録者数	同伴者数
アメリカ	814	176
日本	78	5
カナダ	45	12
ドイツ	13	2
イタリア	12	1
イギリス	10	7
ベルギー	9	1
フランス	8	0
メキシコ	7	0
中国	6	0
スペイン	5	1
その他	62	10
合計	1069	215

2.2 開会式

開会式では、PCI会長W. E. Whitcher氏による開会の挨拶に続き、FEWA局長T. Kane氏の「高性能材料：FHWAのビジョンと展望」と題して、またfib会長M. Virlogeux氏の「プレストレストコンクリート橋設計における建築的要素の重要性について」と題して講演が行われた(写真-2)。

2.3 会議内容

会議は、各テーマごとに会場に分かれて行われ、各セッションは、座長による発表者の紹介、20分～30分の発表の順で進行し、最後に質疑応答が行われた。これらの発表は、論文集にまとめられている。表-2に各セッションのプログラムを示す。

論文発表は、高性能コンクリートの材料、配合、製造、品質管理、施工および将来展望と幅広く行われた。主に、PCIメンバーからは建築におけるプレキャスト製品への高強度コンクリートの適用について、FHWAのメンバーからは



写真-2 M. Virlogeux 氏の講演

* Sadaaki NAKAMURA : ピーシー橋梁(株) 技術部

表-2 シンポジウムプログラム

9月24日(日)	午前	幹事・委員ミーティング		
	午後	セッション1 PRESSプロジェクト (プレキャストシステムの解析法の開発)		
9月25日(月)	午前	オープニングセレモニー (Business Meeting Breakfast)		
	午後	セッション2 産業発展のための開発	セッション3 大西洋側地域における 穴あき床版技術の現状	セッション4 プレキャストPC杭
9月26日(火)	午前	セッション5 安全	セッション6 高性能コンクリート (一般, 歴史, 製造, 設備)	セッション7 高性能コンクリート (材料および配合)
		セッション8 建築における プレキャストコンクリート	セッション9 高性能コンクリート (fibのアプローチ)	セッション10 新分野
		セッション11 耐震	セッション12 高性能コンクリート (研究および将来展望)	セッション13 高性能コンクリート (品質, 製造, 輸送)
	午後	セッション14 教育 (将来発展のための鍵)	展 示 会	
9月27日(水)	午前	セッション15 マネジメント情報	セッション16 プレキャスト産業の直面する 技術的課題	セッション17 プレキャスト/ プレストレス構造
		セッション18 高性能コンクリート (施工技術)	セッション19 高性能コンクリート (構造設計・コンセプト)	昼 食 会
	午後	セッション20 工場製品	セッション21 リスクマネジメントと保険 (技術と実践)	セッション22 fib テクニカルワークショップ
		セッション23 高性能コンクリート (構造性能および規準)	セッション24 高性能コンクリート (FHWAのプロジェクト)	展 示 会

プレキャストPC桁橋の施工および品質管理について報告が行われた。また、fibメンバーからは、ノルウェーで行われた高強度軽量コンクリートの場所打ちPC橋および海洋PC構造物への適用事例などの発表が行われた。

2.4 2002年第1回 fib コングレスの紹介

最終日には、全参加者による昼食会が催された。その席上で、山崎教授から、日本におけるPC技術および2002年大阪で行われる第1回 fib コングレスの紹介が行われた(写真-3)。今後のfibの会議スケジュールは、以下のとおりである。

- fibシンポジウム
2001年10月3日～5日 ドイツ, ベルリン
 - 第1回 fib コングレス
2002年10月13日～19日 日本, 大阪
- これらの発表をもって4日間にわたるシンポジウムの幕が閉じられた。

3. おわりに

今回、PCI/FHWA/fib 国際シンポジウムへの参加を機会に海外の技術者および視察団の皆さまと親交を深めることができたことは、たいへん有意義であった。

2002年の第1回 fib コングレスでは、海外から多くの方々をお迎えすることになるが、少しでもお役に立てるようが



写真-3 山崎教授による2002 fibコングレス(大阪)の紹介

んばりたいと考えている。最後に、今回のシンポジウムにご尽力いただいた関係各位に心より感謝の意を表する次第である。